千葉県歴教協・船橋支部共催「2024 年度　11 月秋の歴史見学会」

関東大震災と船橋における朝鮮人虐殺

―自警団による虐殺と軍隊の役割を考える―

概要

関東大震災(1923 年 9 月 1 日)が発生してから今年で 100 年目となる。発生当時、船橋の町にも東京方面から多くの避難民が押し寄せた。また、北総鉄道(現東武野田線)の建設に従事していた朝鮮人労働者も多数いた。

船橋でも流言蜚語(デマ)が流れ、船橋市内及び隣接する市川市を含め 50 数名の朝鮮人が自警団によって虐殺された。虐殺に大きな役割を果たしたのが行田にあった海軍東京無線電信所(船橋送信所)であった。9 月 3 日に内務省警保局長から各地方長官宛に東京の戒厳令施行を伝え、朝鮮人の取締りを命じた。無線送信所の責任者は東京で発生したデマを地域に伝え、塚田村の青年団、在郷軍人会に応援と警備を求めた。この動きが周辺の町や村に緊張をもたらし、虐殺へとつながったのである。

慰霊碑が建てられている馬込霊園と天沼公園・船橋駅周辺の虐殺に関連する場所を見学し、「関東大震災時に、船橋で何が起ったのか、なぜ起ったのか、追悼･慰霊はどのように行なわれてきたのか」を考えたいと思う。

写真上は馬込霊園にある「関東大震災犠牲同胞慰霊碑」

① **実施日時**　2023 年 11 月 12 日（日）9:30 受付　9：45 見学会開始

② **集合場所**　船橋駅北口から徒歩５分　天沼公園

③ **見学ルート**　天沼公園集合―(午前中徒歩)避病院跡―稲荷屋―旧船橋警察署跡・現商工会議所―旧船橋小学校跡・現船橋市中央公民館―〔**昼食・各自**〕食事後ＪＲ船橋駅北口バスターミナル 6 番線集合(バス) ―馬込霊園前下車(徒歩)・霊園内慰霊碑前―霊園休憩所(説明)―(徒歩)東武アーバンパークライン馬込沢駅(電車)―塚田駅下車(徒歩)―行田公園無線塔記念碑・見学後解散　　＊解散後の案内を行う。

④ **講　師**　・小薗崇明さん、平形千惠子さん

⑤ **申し込み方法および参加費**

・事前にメールで申し込んで下さい（アドレスは下記)。
　資料はメールで送信します。

・会員は無料、会員外の方は 500 円。バス代・昼食費等は各自負担。

⑥ **雨天中止**・小雨決行。
　中止時にはメールで連絡。

ＪＲ船橋駅・京成船場市駅周辺地図

集合場所の天沼公園は、本町七丁目の「神社マーク⛩」の場所です。